

地本業務ニュース

JR 東海 労・静岡 地方本部

NO. 2 2016年8月1日 発行者：JR東海 労静岡地方本部 植松昌彦

申第6号「沼津駅構内ポイント不具合に関する申し入れ」、申第7号「線路閉鎖工事に関する申し入れ」について幹事間折衝を開催！！

静岡地本は7月20日、「申第6号」と「申第7号」について幹事間折衝を開催しました。会社の回答と幹事間の議論は次のとおりです。

「申第6号」

1. 安全に関わる事象であるものは、事前に組合に説明すること。

【回答】協約に則り対応する。

2. 事象の詳細を明らかにすること。

【回答】14時35分頃、不転換が発生したとの情報を施設指令から知得した。14時52分富士保線区係員が現地に到着。ポイント部が密着不良により不転換を起こしていることを確認。突き固めを施行し密着不良を解消。信通社員にて試験を行い、16時58分に支障のないことを確認し、17時から所定運転とした。

3. ポイントが不具合となった原因を明らかにすること。

【回答】トングレールの先端が持ち上げられることによって不転換に至ったと思われる。

4. プレス発表していないが、その理由を明らかにすること。

【回答】事案の大きさや社会的影響を踏まえて総合的に判断したものである。

5. 再発防止対策を明らかにすること。

【回答】同種の分岐器・ポイント部を調査すると共に補修を予定している。

組合：その後、異常は見つかっていないか？

会社：ない。

組合：他線区では同事象は起きていないか？

会社：ない。非常に珍しい例である。

組合：今回の点検箇所はどこか？

会社：当該箇所を徹底的に調査した。

組合：今回の件で広範囲に調査・点検をしたのか？

会社：予定している。

組合：点検頻度はどれぐらいか？

会社：わからない。

組合：今後、同様な事象が発生しないように対策をすること。

会社：今後あれば更に対策を強化していく。

「申第7号」

1. 線路閉鎖日は、業種間により選定の順番があるのか明らかにすること。

【回答】線路閉鎖工事については、諸々の要素を総合的に勘案して内容を決定している。

2. 線路閉鎖の業種間による順番は、どのような理由で定めているのか明らかにすること。】

【回答】線路閉鎖工事については、諸々の要素を総合的に勘案して内容を決定している。

3. 線路閉鎖日の日程に業種間の偏りが無くなるように、順番を変更するなど必要な対策を講じること。

【回答】線路閉鎖工事については、諸々の要素を総合的に勘案して内容を決定している。

組合：先日、新生テクノスと団体交渉を行った。新生テクノス側からは JR 東海に対して、申し入れはしないとのことであった。会社は出向社員を、ただ出しばなしにするのではなく、出向会社の労働条件についての把握に努め、出向社員にとってよりよい労働環境をつくるべきである。出向社員の労働条件を改善するための配慮をすること。

会社：承知した。

以上